

みんなでつくる?! 市民館・図書館

～指定管理者制度について考える～

「社会教育を考える川崎の会」の活動報告

&

竹信 三恵子さん 講演

『指定管理者制度と非正規労働者』

『官製ワーキングプアの日本の実態は?』

市民館って
何をするところ?

なぜ市民館が
指定管理
になるの?

市政に参加って
どうやるの?

官製
ワーキングプア
って何?

指定管理者制度
になって
どう変わる?

開催日

2024年

8/25 (日)

時間

14:00 ~ 16:30 (開場13:45)

場所

多摩市民館3階大会議室

JR南武線/小田急線「登戸」駅徒歩10分

小田急線「向ヶ丘遊園」駅徒歩5分

資料代

500円

主催

社会教育を考える川崎の会

問合せ  haz30210@gmail.com

下記QRコードからお申込ください。



※当日直接参加可(資料準備等のため、
なるべく事前に申込みをお願いします。



竹信 三恵子さん

ジャーナリスト・和光大学名誉教授

1976年、朝日新聞社に入社。

同社編集委員兼論説委員、和光大学教授
などを経て2019年4月から和光大学名誉
教授兼ジャーナリスト。

働く場での性差別や非正規労働者の貧困
問題に取り組み、2009年、一連の報道活
動に対し貧困ジャーナリズム大賞。

著書に『ルポ雇用劣化不況』(岩波新書)、
『賃金破壊～労働運動を「犯罪」にする国』
(旬報社、日隅一雄賞特別賞)など。最新刊
に『女性不況サバイバル』(岩波新書)。

【社会教育を考える川崎の会】とは
川崎市の市民館、図書館への指定管理者制度導入をきっかけに、市民として
できることはないかを考えるために発足したグループです。